

# 三中図書館だより



令和5年度 No. 7  
10月24日 図書文化委員会  
学校司書 発行

先月、新しい本を並べると、その日のうちに、たくさんの方が学校図書館に来てくれました。「今、このシリーズにはまっているんです。続きを入れてください。」とリクエストしてくれる生徒や、「青山美智子さんの本が好きになりました。」と作者にはまっている生徒がいて、こちらも、みなさんとの会話から一人一人の好みや傾向がわかってきて、選書する際にも、みなさんの顔が浮かんできます。私はカタログやインターネットからも情報をキャッチしていますが、大型書店のコーナーもチェックしているんですよ。みんなで読書の秋を楽しみましょう。

## つながる読書



読書ページ総数 30,088 ~10/19

順位ページ数

1位 7,691 1年 竹澤奈乃花さん  
2位 3,698 3年 知家日菜乃さん  
3位 3,566 3年 高木千穂さん

## あたらしい本が入りました!



『メメントモリ』 『スキップとローファー⑨』 『小説 ブルロック④』 『とわの庭』  
『わたしの幸せな結婚④~⑦』 『雲は湧き、光あふれて①~③』 『私たちの世代は』  
『美術の進路相談 絵の仕事をするために、描き続ける方法』 『この夏の星を見る』  
『マンガでよくわかる やる気に頼らず「すぐやる人」にある37のコツ』  
『なりたい!が見つかる お仕事図鑑』 『ジュニア空想科学読本②⑥』 『1年間だけ②』  
『エコノミストの父が、子どもたちにこれだけは教えておきたい大切なお金の話』

※ほかにもあるので見に来てください!



## 給食と本のコラボ



『宙ごはん』 町田 その子



宙には、育ててくれている「ママ」と産んでくれた「お母さん」がいる。二人の母がいるのは幸せだった。産んでくれたママの花野と再び暮らすようになったが、ご飯は作ってくれない。そんな時に手を差し伸べてくれたのは、花野の中学校時代の後輩で、ピストロで働く佐伯だった。毎日のごはんを用意してくれ、話し相手にもなってくれ、レシピまで教えてくれた。その日から、宙は、教わったレシピをノートに書きとめ続けた。

調理中からお出汁(だし)のいい匂いが学校図書館までとどいていました。給食では、野菜も入っていて、さらに美味しいにゅうめん仕上がっていました。少し肌寒くなってきた季節には、ホッとのお出汁の味と温かいにゅうめんがぴったりでした。

鰹節が受け箱いっぱい溜まってから、宙は昆布と鰹節の合わせ出汁をとった。そうめんを茹で、塩やみりん、しょうゆで味を調えた出汁に合わせる。刻んだねぎだけを載せた、飾り家のないにゅうめんを宙と花野は向かい合って啜(すす)った。きっと二人はにゅうめんを通して会話をしていたのではないのでしょうか。